

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第6号

令和5年6月3日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

「学習の記録」

～観点別評価の変更点～

校長 森 勝義

新学習指導要領は2022年度からの高校実施を受けて全面実施になりました。そのことを踏まえて、日本語学校でも、「学習の記録」を幼稚部から高等部まで全面改定しました。「幼稚部」「小学1・2年」「小学3・4年」「小学5・6年」「中学部」「高等部」の分野に分けました。幼稚部は、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を目標に幼児教育と小学校教育の接続を図っています。小学部から高等部は従来4観点の評価「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」が3観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」に変わります。そして、評価は観点別の評価を総括し、小学校では3段階、中高では5段階で記載します。

また、日本の小学校では3年生から「外国語活動」が始まっています。3・4年生は2年かけて「聞く」「話す」のコミュニケーションを中心に、5年生からは正式に教科となり、「書く」「読む」が加わり、評価が伴うようになります。

中学校では既に実施しているプログラミング教育を2倍に増やし、「ネットワークを利用した双方向での問題解決」が追加されています。

高等学校では2022年度から公民科に必修科目「公共」が導入されました。「現代社会」が廃止され、それが「公共」に変わり、主権者教育を通して、子どもたち自らが主体となって政治を動かし、社会に参画する力を身につけることが目標です。

1学期終業日の6月24日、新しい「学習の記録」がひとり一人に渡されます。昨年までとの違いをぜひ、確認していただければと思っています。

4年 国語「都道府県の旅」

「日本での思い出」

片岡 敬太

ぼくは夏休みに一時帰国した時に宮城県にいったおじいちゃん、おばあちゃんの家に行きました。そして友だちのゆうとくんの家にも行きました。そしてゆうとくんと水族館に行って色んな魚を見ました。その後すぐにイルカショーがありました。その後おじいちゃんおばあちゃんのいちご畑でいちごがりをしました。そしておいしいいちごをたいりょうにかくほしました。今年もまた友だちと会えるのがたのしみです。

もう一つ思い出にのこっているのは大阪に行って太陽のとうに行った事です。太陽のとうに行ってから新かん線にのってひめじ城に行きました。ひめじ城の中は急な階段であせだくになりました。大阪もとてもきれいな場所なのでもう一回行きたいです。

「おもいでのスキー」

高橋 ゆず

福井県勝山市は、私の大好きな町です。そこには、私のおじいちゃん、おばあちゃんがいて、いとこもたくさんいます。その町は、きょうりゅうの町としても有名ですが、冬には、カニもおいしくて雪もたくさんふります。

私は、二年生のお正月にいとこといっしょに、スキー教室に入りました。スキーをしたことがなかった

ので「すべれるかな。」としんぱいでした。真っ白で急な坂がとても大きく見えて、私のふあんな気持ちもさらに大きくなりました。

コーチのまねをして練習しました。「スキー板を三角にすると止まれるよ。」と、やさしく教えてくれました。止まりかたが分かったと少し安心です。

リフトに乗って、少し高い所からすべりました。板を八の字にすると、スピードも出すぎません。とちゅうで何度かころんでしまいましたが、いつのまにかこわいという気持ちより、上手になりたいという気持ちの方が大きくなっていました。

最後の、テストの時、あの、ふあんだった真っ白で大きな坂は、キラキラ光っていて、とてもきれいで気持ちよかったです。合格もできて、帰り道の私の心もキラキラしていました。また、大好きな町で宝物のようなおもいでが一つふえました。

「わたしの思い出の都道府県」

音琴 日菜

わたしの思い出の都道府県は、静岡県の土肥町です。どうしてかと言うと、土肥金山があるからです。土肥金山とは、明治時代から昭和にかけて鉱山として栄えていたところなんです。当時とれた金の量は四十トンと言われています。私は土肥金山で砂金とり体験をしました。土肥金山以外にも海水浴場などにも行きました。なので静岡県は、私の思い出の都道府県です。

「サファリパーク」

鳥居 航名

ぼくは静岡県のすその市にあるサファリパークに行きました。バスにのって動物をたくさん見ました。中でも好きだったのは、ライオンに肉をあげるところです。バスのあみ目からはさみで肉をはさんであげました。すごくきょうぼうでした。ぼくの姉はこわがっていました。あとカバの大きさにびっくりしました。ぼくが思っていたより大きくて太っていました。あとカンガルーのふんがすごくくさかったです。おみやげコーナーに寄り、そうがんきょうを買いました。楽しかったです。

「群馬県太田市について」

山口 清悠

ぼくの、すんでいた場所は群馬県太田市です。まず群馬で有名なのは、ぐんまちゃんです。ぐんまちゃんは、馬のポニーでみためはとてもかわいくて群馬の人気キャラクターです。

つぎに、群馬のかんこうスポットをしょうかいします。日本では、あまり知られていませんが、群馬サファリパークがあります。かわいい動物は、レッサーパンダ、ハリネズミ、ペンギン、ウサギ、モルモットなどがいます。めずらしい動物はホワイトタイガーです。

つぎに、有名な食べ物は黒い色をしたやきそばと、やきまんじゅうが太田の有名なたべものです。群馬県全体で有名な食べ物は、いちご大福です。そして、あまくておいしいです。

最後にぼくのすんでいた、太田市には群馬クレインサンダーズというバスケのチームがあります。日本にいるときはママとよくいっしょにみにいきました。

「僕のゆめの地」

大宮 亮平

ぼくが大好きな都道府県は東京都です。なぜなら、昔住んでいたからです。その家のまどから電車を見たから電車が好きになったと思います。電車の種類も多いので、電車好きになったことでさらに東京が好きになりました。そして、いろんな店があるところも好きです。見どころがいっぱいです。これがぼくの東京が好きな理由です。

「愛知県について」

本田 健人

ぼくは愛知県をしょうかいします。愛知県の名古屋市にはレゴランドがあります。遊園地の乗り物が大きなレゴで作られています。名古屋市ではひつまぶしを食べました。細く切ったうなぎに、ネギやだしをたっぷりかけて食べます。

ぼくはアメリカに来る前は、稲沢市に住んでいました。稲沢市には「はだか祭り」があります。2月の一番寒い時に男の人がふんどしをはいて、「福男」にタッチするお祭りです。福男にさわれた人は、一年間元気にすごせるそうです。